

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-3-2	事務事業名 地域福祉団体等振興事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
----------------	----------------------	----------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	1 市内福祉団体の運営に対し経費の一部を助成し団体の育成ならびに福祉の向上に寄与することを目的とする。 2 市内において福祉団体が行う地域福祉振興事業に対し、経費の一部を補助することにより、地域福祉の振興を図ることを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 上記1は、身体障害者、被爆者、聴覚障害者、精神障害者、知的障害者等の本人や保護者等で構成されるの任意団体の10団体。親睦、学習活動、普及啓発活動等を行っており、運営費に対して助成を行う。 上記2は、NPO法人で、地域で自立生活プログラム等に取り組むことにより、財団法人東京都福祉保健財団から、助成を受けている2団体に対し助成する。 (03.01.02.32地域福祉等振興事業費)	
事業開始時期	合併前 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		9,759	9,757	9,268	9,760
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		2,441	2,441	2,196	2,441
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		7,318	7,316	7,072	7,319
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	808	817	770	823
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	10,567	10,574	10,038	10,583
単位当たりコスト(E)=(D)/(団体数)	千円	881	881	913	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 団体数	実績値 団体	12	12	11	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 助成金額	目標値 円				
	実績値 円	9,758,624	9,756,640	9,267,440	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成24年度実績を把握している24市中、3番目の順位であった。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 なし

事業コード 5-3-2	事務事業名 地域福祉団体等振興事業	所管部課 福祉部 障害福祉課
----------------	-------------------	-------------------

施策コード 笑1-3	施策名 障害者福祉の充実	施策目標 障害のある人が、地域で自立した生活をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>新規加入者がなく、会員が高齢化して活動が困難になってきている団体が1部あり、そういった団体には助成の廃止を検討する。</p> <p>補助金助成団体に対する助成金が現時点で適正な金額となっているのか再評価する時期に来ており、ヒアリング等行い、各市の動向などを踏まえ再評価する必要がある。</p>	
	事業の 必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	3	■ 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	1	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	1			
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>長年にわたって特定の団体に対して補助が行われてきたことから、団体の運営費に組み込まれている実態もあるものと思われる。補助金本来の用途に使われているかについてチェック機能の強化を図るとともに、制度本来の目的に立ち返り、抜本的な見直しを行う必要がある。</p> <p>見直しに当たっては、他団体の事例なども参考にしながら、本当に必要などころに補助できるような仕組みづくりを行うとともに、新たな制度として構築することも検討すべきである。</p>	
	事業の 必要性	1	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の 妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの 相手方	2	■ 抜本的見直し		
	事業内容等の 適切さ	1	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の 適切さ	1	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの 把握	1			
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、地域福祉の振興を図ることを目的に福祉団体等が行う地域福祉の振興に資する事業に対し、経費の一部を助成するものであり、特定団体に対する経常的な補助金となっている。</p> <p>また、補助金対象団体の活動内容や補助金の使途等の把握が不十分であり、補助金の目的に沿う成果が得られているのか検証する仕組みが必要である。</p> <p>今後は、補助対象団体が固定化している課題や福祉団体ごとの補助額の算定や補助金比率が高い団体への支援、また、福祉団体の活動の活性化に寄与する制度への抜本的な見直しが必要である。</p>